

● 土 壌 の 採 取 方 法 一 覧

分析項目	用途	採取時期	採取場所	採取深度	採取量の目安	
化学性分析	施肥設計	前作栽培終了後 作付 1 ヶ月以上前	畑の 4 角と対角線で結んだ交点 の 5 か所	15 ～ 20cmまで	200g 以上 又は袋の半分	
	生育不良の要因	生育期	生育不良株の周辺から数か所 対照土壌として正常株周辺			
線虫	線虫密度 被害発生リスク	生育期 前作栽培終了直後 作付 1 ヶ月以上前	最も被害が発生していた株周辺	10 ～ 20cmから		
ピシウム菌	菌密度 被害発生リスク			10 ～ 15cmまで		
フザリウム菌				15 ～ 20cmまで		
青枯病菌 立枯病菌（タバコ）	生育期 前作栽培終了から 1 ヶ月後 作付 1 ヶ月以上前	最も被害が発生していた株周辺 下層の菌の影響がある場合は 上層、中層、下層に分ける	15 ～ 20cmまで 0-30cm 30-60cm 60-90cm	各層 200g 以上 又は袋の半分		
アブラナ科根こぶ病		最も被害が発生していた株周辺	10 ～ 15cmまで	300g 以上 又は袋の半分		
ネギ類黒腐菌核病					菌核数 被害発生リスク	
ショウガ根莖腐敗病						捕捉率 被害発生リスク
キャベツ パーティシリウム萎凋病 （群馬県の土壌のみ）						
線虫被害未発生 又は不明	線虫密度 被害発生リスク	排水性悪い、生育悪い場所 化学性と同じ 5 点法	10 ～ 20cmから	300g 以上 又は袋の半分		
病害未発生又は不明	菌密度、菌核数、 捕捉率、菌量 被害発生リスク	前作栽培終了直後 （フザリウム菌は 1 か月後） 作付 1 ヶ月以上前	排水性悪い、生育悪い場所 化学性と同じ 5 点法	各項目に適した 深度まで	200g ～ 3kg	

● 複 数 項 目 を 分 析 依 頼 す る 場 合 の 土 壌 の 採 取 量 目 安

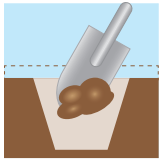
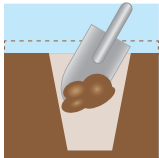
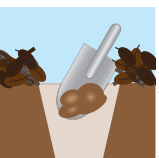
化学性 (微量要素等含む)	線虫	ピシウム菌 フザリウム菌 青枯（立枯）病菌	根莖腐敗病	黒腐菌核病	根こぶ病	キャベツ パーティシリウム 萎凋病	最低必要量
●	●						500g
●		●					300g
●			●				1 ～ 3kg
●	●	●	●				1.5 ～ 3kg
●				●			400g
●					●		400g
●						●	400g
	●	●					300g
	●		●				1 ～ 3kg
	●			●			500g
	●				●		300g
	●				●	●	300g
		●	●				1 ～ 3kg
					●	●	300g

アグロカネショウの
土 壌 分 析

化学性分析

土 壌 の 採 取 方 法

養分分析の場合

分析 目的	採取方法		採取深度
施肥設計	水田・畑土	圃場の 4 角と対角線で結んだ交点の 5 か所から移植ごてなどでバケツ等の容器に採取し、良く混ぜる。 ● 採取場所 注意点（畑土）：残肥が入らないようにする。 植物残渣等はあるべく除去する。	表土を 1 ～ 2cm除去し、深さ 10 ～ 20cmまで採取する。  10 ～ 20cm程度
	樹園地	平均的な生育の樹を 1 本選び、樹冠の端から 30cm内側の 2 か所から採取し、バケツ等の容器に採取し、良く混ぜる。 ● 採取場所 注意点：果樹の種類や年数により根域が異なるため、根が多く分布する所から採取する。	根が多く分布する深さ 20 ～ 40cm位から採取する。  20 ～ 40cm程度
	茶園	畝間 5 か所位からバケツ等の容器に採取し、良く混ぜる。 ● 採取場所	堆積した未分解の枝葉を除去し、深さ 10 ～ 20cmから採取する。  10 ～ 20cm程度
【採取時期】 前作栽培終了後または、作付 1 ヶ月以上前			
【採取量】 200g または袋の半分			
生育不良の要因確認	・生育が悪い株周辺から数か所。 移植ごてなどでバケツ等の容器に採取し、良く混ぜる ・対照土壌として正常株周辺から数か所。 移植ごてなどでバケツ等の容器に採取し、良く混ぜる		【採取時期】 生育期のみ 【採取量】 200g または袋の半分 注意点：対照の正常株周辺土壌を採取する際は、根を傷つけないようにする。

土壌分析に関する詳細やお申し込みは
弊社 HP からご確認ください➡

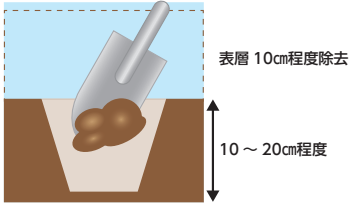


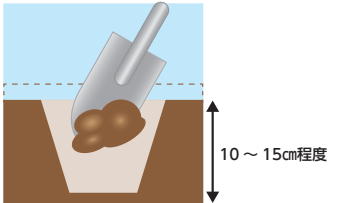
土壌の採取方法動画はこちら➡

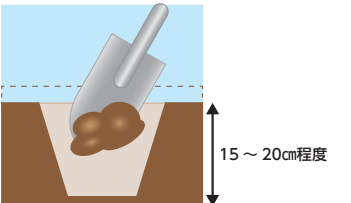


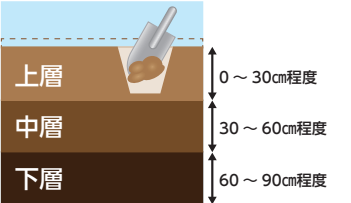
土 壌 の
送 付 先

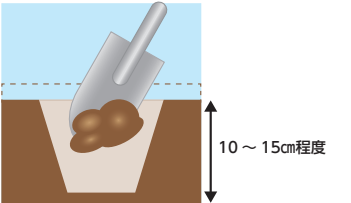
〒 307 - 0001 茨城県結城市結城 9511 - 4
アグロ カネショウ株式会社 結城事業所 土壌分析室宛
TEL.0296 - 21 - 3108 FAX.0296 - 21 - 3109

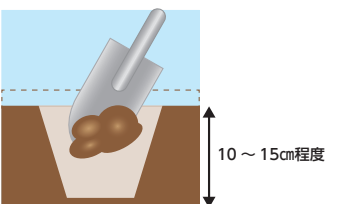
線虫	発生有無	採取方法	採取深度
	被害発生	最も激しく被害が発生していた箇所およびその周辺数か所からバケツ等の容器に採取し、良く混ぜる。  【採取時期】生育期、前作栽培終了直後または、作付 1 ヶ月以上前 【採取量】300g または袋の半分	表層を 10cm程度除去し、深度 10 から 20cmから採取する。 
	不明または未発生	生育が悪い場所など気になる場所、数か所から、なげれば、畑に 4 角と対角線で結んだ交点の 5 か所から採取。バケツ等の容器に採取し良く混ぜる。 【採取時期】前作栽培終了直後または、作付 1 ヶ月以上前 【採取量】300g または袋の半分	
注意点：採取した土壌は乾燥しないようにして、2～3 日以内に送付してください。保管は、冷蔵か日陰の涼しい場所で行ってください。			

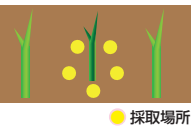
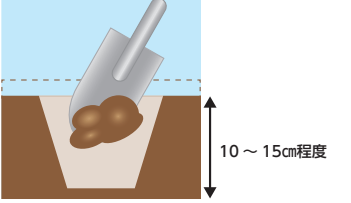
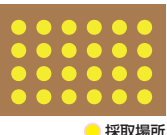
ピシウム菌	発生有無	採取方法	採取深度
	被害発生	最も激しく被害が発生していた箇所およびその周辺数か所からバケツ等の容器に採取し、良く混ぜる。 【採取時期】生育期、前作栽培終了直後または、作付 1 ヶ月以上前 【採取量】200g または袋の半分	表土を軽く除去し、深さ 10 ～ 15cmまで採取する。 
	不明または未発生	生育が悪い場所、排水性が悪い場所など気になる場所、数か所からバケツ等の容器に採取し、良く混ぜる。 【採取時期】生育期、前作栽培終了直後または、作付 1 ヶ月以上前 【採取量】200g または袋の半分	
注意点：病原性而非病原性の菌がいます。同定はできません。雑草や緑肥などを鋤き込んだ直後は、雑多な菌が検出される可能性があるため、避けてください。			

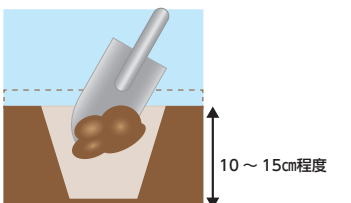
フザリウム菌	発生有無	採取方法	採取深度
	被害発生	最も激しく被害が発生していた箇所およびその周辺数か所からバケツ等の容器に採取し、良く混ぜる。 【採取時期】生育期、前作栽培終了から 1 ヶ月後または、作付 1 ヶ月以上前 【採取量】200g または袋の半分	表土を軽く除去し、深さ 15 ～ 20cmまで採取する。 
	不明または未発生 (連作の場合)	生育が悪い場所、排水性が悪い場所など気になる場所、数か所からバケツ等の容器に採取し、良く混ぜる。 【採取時期】前作栽培終了から 1 ヶ月後または、作付 1 ヶ月以上前 【採取量】200g または袋の半分	
注意点：病原性而非病原性の菌がいます。同定はできません。栽培終了直後、雑草や緑肥などを鋤き込んだ直後は、雑多な菌が検出される可能性があるため、避けてください。宿主特異性がある菌のため、連作圃場以外は、病害発生の可能性を調べることはできません。			

ナス科青枯病・タバコ立枯病	発生有無	採取方法	採取深度
	被害発生	最も激しく被害が発生していた箇所およびその周辺数か所からバケツ等の容器に採取し、良く混ぜる。 【採取時期】生育期、前作栽培終了直後または、作付 1 ヶ月以上前 【採取量】各層 200g または袋の半分	表土を軽く除去し、深さ 15 ～ 20cmまで採取する。 トマトやナスなど根が深くまで伸長する作物の場合は、下層の菌が影響する可能性があるため、上層、中層、下層 (0-30cm、30-60cm、60-90cm) に分けて採取する。 
	不明または未発生	生育が悪い場所、排水性が悪い場所など気になる場所、数か所から採取。バケツ等の容器に採取し、良く混ぜる。 【採取時期】前作栽培終了直後または、作付 1 ヶ月以上前 【採取量】各層 200g または袋の半分	
注意点：採取した土壌は乾燥しないようにしてください。4℃以下で死滅するので、冷蔵便で送付しないでください。圃場環境条件で、生きていても人工培養できない状態 (VBNC) になることがあるため、被害が発生していても検出されないことがあります。			

アブラナ科根こぶ病	発生有無	採取方法	採取深度
	被害発生	最も激しく被害が発生していた箇所およびその周辺数か所からバケツ等の容器に採取し、良く混ぜる。 【採取時期】生育期、前作栽培終了直後または、作付 1 ヶ月以上前 【採取量】300g または袋の半分	表土を軽く除去し、深さ 10 ～ 15cmまで採取する。 
	不明または未発生	畑の 4 角と対角線で結んだ交点の 5 か所から移植ごてなどでバケツ等の容器に採取し、良く混ぜる。 【採取時期】前作栽培終了直後または、作付 1 ヶ月以上前 【採取量】300g または袋の半分 	
注意点：おとり作物や緑肥を栽培し、鋤き込んだ直後は、多く検出される可能性があるため、十分腐熟が進んでから採取してください。			

ネギ類黒腐菌核病	発生有無	採取方法	採取深度
	被害発生	最も激しく被害が発生していた箇所およびその周辺数か所からバケツ等の容器に採取し、良く混ぜる。 【採取時期】生育期、前作栽培終了直後または、作付 1 ヶ月以上前 【採取量】300g または袋の半分 	表土を軽く除去し、深さ 10 ～ 15cmまで採取する。 
	不明または未発生	生育が悪い場所、排水性が悪い場所など気になる場所、数か所からバケツ等の容器に採取し、良く混ぜる。 【採取時期】前作栽培終了直後または、作付 1 ヶ月以上前 【採取量】300g または袋の半分	
注意点：病害が発生した場所以外から検出される可能性は低いので、病害が発生した場所から採取してください。			

ショウガ根茎腐敗病	発生有無	採取方法	採取深度
	被害発生	最も激しく被害が発生していた箇所およびその周辺数か所からバケツ等の容器に採取し、良く混ぜる。 【採取時期】生育期、前作栽培終了直後または、作付 1 ヶ月以上前 【採取量】1 ～ 3kgまたは採取袋 1 ～ 3 袋分 	表土を軽く除去し、深さ 10 ～ 15cmまで採取する。 
	不明または未発生	生育が悪い場所、排水性が悪い場所など気になる場所、数か所からバケツ等の容器に採取し、良く混ぜる。 【採取時期】前作栽培終了直後または、作付 1 ヶ月以上前 【採取量】1 ～ 3kgまたは採取袋 1 ～ 3 袋分 	
注意点：しばらく休耕していた場合は 3kg以上採取してください。			

キャベツバーティシリウム萎凋病 (群馬県の土壌のみ)	発生有無	採取方法	採取深度
	被害発生	最も激しく被害が発生していた箇所およびその周辺数か所からバケツ等の容器に採取し、良く混ぜる。 【採取時期】生育期、前作栽培終了直後または、作付 1 ヶ月以上前 【採取量】300g または袋の半分	表土を軽く除去し、深さ 10 ～ 15cmまで採取する。 
	不明または未発生	生育が悪い場所、排水性が悪い場所など気になる場所、数か所からバケツ等の容器に採取し、良く混ぜる。 【採取時期】前作栽培終了直後または、作付 1 ヶ月以上前 【採取量】300g または袋の半分	
注意点：残渣が入らないようにしてください。			